

埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成29年度

日臨技関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会(第54回)

開催にむけ現在ラストスパート中!!

実行委員長 濱本 隆明(防衛医科大学校病院)

「濱ちゃん! 来月の埼臨技だよりの学会特集記事の担当だからね!!」と、埼臨技だよりの編集長よりお尻をたたかれ、締め切り間際の蒸し暑い夜にヒーヒー言いながらこの記事を書いています。学会当日まで2か月を切りました。現在、学会当日を万全の状態を迎えるため、実行委員一同、日夜準備作業に励んでいます。これまで、埼臨技だよりでは一部の企画しかご案内できていなかったもので、今回は学会の催事内容についてご案内させていただきます。

まず、会員の皆さまと協賛企業のご協力により、一般演題198題、CM演題11題と演題を限られたスケジュールの枠に割り当てする学術部長の悲鳴が聞こえてくるほど、多くの演題を発表いただくことになり、大変ありがたく思います。この場を借りて御礼申し上げます。また、演題だけでなく学会特別企画(2企画)、日臨技企画(3企画)、若手実行委員企画(2企画)、研究班セミナー(7企画)、ランチョンセミナー(9社)と演題以外にも見どころ盛りだくさんの企画を用意することができました。各企画の詳細については別途、お送りする「学会インフォメーション」をご参照いただければと思います。こちらも見ごたえ十分になっています。また、発表会場外では機器試薬展示(出展企業26社)、書店販売、土産物販売もあり、どこの会場でも大入り間違いなしとなっております。二日間ある学会の折り返し地点(?)といえは土曜夜に行われる意見交換会でしょう! 他県の技師との交流だけでなく、実行委員会宴会部長のMr.Oがとても楽しいアトラクションを現在、準備中です。

ここまで参加したくなる企画が盛りだくさんだと、朝の受付は参加者で長蛇の列では…。いえいえ、心配無用です。本学会より、「学会事前参加登録」も行っています。こちらは申し込み締め切りがありますので、申し込みがまだの方は急いで日臨技HPの会員ページよりお申込みください。

最後になりますが、ここまでスケールの大きな学会へと育てていただいた、関係者の皆様には改めて御礼申し上げます。そして、皆さまにいただいたご厚意に応えるため、最後の最後まで気を引き締めて学会運営してまいりたいと思います。

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 輸血検査実技研修会

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成29年 7月 9日 9時00分～17時00分

会場：埼玉県済生会栗橋病院 5階講堂 点数：専門教科－20点

午前コース：初級者のための実技研修会 血液型・不規則抗体検査

午後コース：中級者のための実技研修会 血液型・抗体解離試験

講師：輸血検査研究班員

参加人数：会員51名

出席した研究班班員：山田攻 渡邊一儀 神戸考裕 久保居由紀子 佐藤祥子 長谷川卓也
斎藤翔子 野呂光恵 小林真弓

研修内容・感想など

今年度の実技研修会は、午前コースと午後コースにわけて行った。午前コースは初級者を対象として血液型と不規則抗体検査を内容とした。血液型検査では正しい手技と反応態度の捕らえ方、結果の解釈について確認をした。不規則抗体検査については、カラム法にて検査を実施した。カラム法は、全自動分析装置によって実施されることが多いがマニュアル分注も用いられている。正しい手技で分注をしないと結果に影響があるため、正しい分注方法と、消去法から疑わしい抗体を導き出せるように指導をした。午後コースでは血液型検査と抗体同定検査を内容とした。血液型検査では正しい手技の確認はもちろんのこと、異常反応を正しく捕らえて、その対応について指導した。抗体同定検査については、試験管法による間接クームス試験



と直接クームス試験を実施してから、酸解離法による抗体解離後の同定をカラム法にて実施した。酸解離法は、近年、導入施設も多くみられるようになってきたが、まだやったことのない参加者も多くみられた。抗体消去法については、ガイドラインが改定され解釈が変わった部分があるため、合わせて指導をした。グループ内でのディスカッションも行われ、質問も多く出て有意義な研修会であったと考えられる。

輸血検査において自動化が導入されつつも、まだ用手法検査の手技獲得は必須である。今後も最新の情報を取り入れつつ、安全な輸血療法につながるように実技研修会を企画していきたいと考える。
(文責：渡邊一儀)

テーマ 自己分析をして、“自分の取説”を作ろう！ ～ 自分との関り方を理解しよう ～

主催 公衆衛生検査研究班

実施日時：平成29年 7月14日 19時00分～20時45分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科－20点

講師：金平しのぶ（オフィス プレーリー）

参加人数：会員19名

出席した研究班班員：菊地孝司 富井貴之 鈴木勤 立塚梓 榊原外江

研修内容・感想など

今回の研修会は、心理カウンセラーである金平氏をお招きした。通常の研修会とは違い、スライド講演ではなく参加者が手を動かし、金平氏とディスカッションを行いながら、自己分析を行うといった内容であった。「私の取り扱い説明書」と題して研修は進められたが、イラストを見て想像できるストーリー・結末を記入するものや、猫のイラストのふきだしに言葉を記入（猫から自身へかける声）するもの、ドラえもののグッズである「どこでもドア」の使い方などユニークな内容であった。各々が記入し講師とのディスカッションを行っていったが、記入した内容により、「今の気持ち」「嫌なときの反応」などをあらわしているとの説明を受け、参加者からは驚きや共感の声が上がっていた。研修の中で、社交性がある人が優れていると思われがちだが必ずしもそんなことはなく、内向性の場合でもそれをきちんと受け入れることが大事とのお話があり印象的であった。

参加者がやや少なめではあったものの、参加された方のなかには、研修会終了後も時間の許す限り、金平氏とディスカッションを行っている姿も見られ、一風変わった研修会ながら今後も継続していく意味を感じた。（文責：富井貴之）

テーマ **肺癌コンパニオン診断に関する知識を深めよう**

主催 病理検査研究班

実施日時：平成29年 7月20日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティセンター 第13集会室 点数：基礎教科－20点

講 演 1：IHCの精度管理とPD-L1検査

講 師：中川加奈子（アジレント・テクノロジー株式会社 診断・ゲノミクス部門）

講 演 2：抗PD-1抗体治療の実際 ～100名の経験から～

講 師：山口 央（埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科）

参加人数：会員42名 賛助会員5名

出席した研究班班員：岡村卓哉 渡邊俊宏 森田繁 荻真里子 三鍋慎也 細沼佑介 関口久男
高橋俊介 今村尚貴 金泉恵美子

研修内容・感想など

近年、個別化医療をすすめていく上で治療薬の副作用軽減や患者のQOL向上のためにも分子標的薬は必要不可欠となってきた。分子標的薬選択の可否を決定するためにコンパニオン診断が行われる。肺癌においてもニボルマブやペムブロリズマブが治療薬として承認され、これらの薬剤を選択するにはPD-L1の発現を確認しなければならない。今回の研修会ではPD-L1を中心にコンパニオン診断や治療薬の実際として実例を挙げて2人の講師にご講演いただいた。

講演1では、肺癌の分類、コンパニオン診断薬の定義、PD-L1検査の実際と基本的な事項を講演していただいた。検査を行う上での注意点や固定時間など検体準備時の注意点などもわかりやすく解説していただいた。多くの施設では、検査センターへ検査委託されていることと思われる。検体準備に今回の研修会での講演内容を活かしていただきたい。

講演2では、ここ数年の肺癌予後の変化や治療方針を決定するための遺伝子変異の話、化学療法と分子標的薬の違い、また実際の治療症例も挙げてわかりやすく解説していただいた。PD-1抗体薬の作用やその作用機序の影響で起こる副作用、その副作用に対する治療など検査技師ではなかなか知りえない情報を交えての講演であった。この講演では多職種連携が治療において重要であるとの話もあった。

癌治療において、治療を左右するコンパニオン診断は重要で、そこに関わる病理部門はその責任の重要性を認識する必要がある。今後も新たな分子標的薬の開発や適応拡大が考えられる。それに伴いコンパニオン診断も進められるため、これらの動向に注目していくことが重要である。（文責：金泉恵美子）

テーマ ANCAとIL-2Rについて学びましょう

主催 血清検査研究班

実施日時：平成29年 7月27日 19時00分～20時50分

会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科－20点

講 演 1：自己抗体検査各論「血管炎とANCA」

講 師：諫山 拓也（MBL株式会社 医学生物学研究所）

講 演 2：IL-2R測定の臨床的意義について

講 師：早川恒一郎（LSIメディエンス株式会社）

参加人数：会員27名 賛助会員1名

出席した研究班班員：庄司和春 鈴木淳子 中別府奈穂子 多川裕介 岩崎篤史 鯨井智子

研修内容・感想など

講演1は自己抗体各論「血管炎とANCA」について、諫山氏に講演をしていただいた。小血管炎はANCA関連血管炎と免疫複合体性小血管炎に分類され、ANCA関連血管炎は抗好中球細胞質抗体（ANCA）が陽性でこれが病態に関与していると考えられる血管炎であり、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）・多発血管炎性肉芽腫症（GPA）・顕微鏡的多発血管炎（MPA）の3疾患がある。わが国では顕微鏡的多発血管炎（MPA）が最も多く、この疾患は全身性壊死性血管炎であるが、肉芽腫の形成を認めないことが特徴であり、高齢発症で、他の2疾患に比べ、腎障害を来たすことが多く、間質性肺炎の先行例や合併例も認められる。ANCAには核周囲が染まるpANCAと細胞質が染まるcANCAがあり、pANCAの代表的な抗原はMPO（myeloperoxidase）、cANCAの代表的な抗原はPR3（proteinase3）である。その他にもエラスターゼ・ラクロフェリンなど様々な抗原に対する自己抗体（サブタイプ）がある。ANCA関連血管炎は様々な臓器に起こるため症状が多彩であり、診断が非常に難しいが、ANCAの測定により、早期診断ができるケースが増えている。最近ではANCA関連血管炎に伴う中耳炎（OMAAV）や肺限局型血管炎が注目されているとのことであり、ANCA測定の有用性が理解できた。

講演2は都合により講師が早川氏に変更となり、IL-2R測定の臨床的意義について、講演をしていただいた。悪性リンパ腫は大きくホジキン病と（HD）と非ホジキンリンパ腫（NHL）に分類され、欧米ではホジキン病が多いが、日本では非ホジキンリンパ腫（NHL）が多い。この疾患は専門医でないと診断が付きにくく、確定診断には病理組織学的検査が行われる。診断確定後に治療の選択や予後の予測のためにCT、MRI、超音波検査、骨髄穿刺、LDH等の検査が行われるが、IL-2R（可溶性インターロイキン2受容体）が腫瘍マーカーとして有用とされている。IL-2RはATLLと非ホジキンリンパ腫の病態や治療効果の評価、再発検出の目的で検査される。参考基準範囲は121～613U/mlであるが、リンパ腫であっても増殖の遅い症例や限局期の症例では、基準範囲内にとどまることがあり、自己免疫疾患やウイルス感染症などでも上昇する。また、腎機能低下に伴い高値となるため注意が必要である。非ホジキンリンパ腫の治療は化学療法、化学療法と抗体薬（リツキシマブ）の併用、奏効しない場合は骨髄・臍帯血・造血幹細胞移植が行われるが、移植後の急性GVHD管理にIL-2Rとプレセプシンの同時測定が有用であるとのことであった。

（文責：鯨井智子）

埼臨技ひろば

第2回 埼臨技有志の会（あじさいの会） 開催のお知らせ

「埼臨技有志の会」(あじさいの会)は、平日の研修会への参加が難しい方たちのために、休日を利用して、研修会と食事等を組み合わせた有意義かつ楽しい時間を共有するために、昨年発足された新しい試みの会です。

第2回目を下記の日程にて行います。皆様、どうぞお気軽にご参加くださ〜い!!

日 時：平成29年11月12日(日) 10時～(9時30分より受付開始)

集合場所：with you さいたま（埼玉県男女共同参画推進センター）

さいたま新都心駅、北与野駅から徒歩約6分 ホテルプリランテ武蔵野4階

TEL：048-601-3111

内 容：① 研修：10時～11時40分くらいまで

テーマ：『食育について』 講師：志村幸一郎 氏

埼玉県出身。東京八丁堀の名店 てんぷら 小野 2代目店主。

単なる料理の提供にとどまらず、LIVE天ぷら、コミュニケーション式の天ぷらなどの新しいサービス展開へ挑戦中です。

一方で、超情報型社会とスローフードを自分の心のテーマに決め、全国の学校長・園長を対象にした食育活動もされています。

そして、元商社マンとしての経験や英語力を活かし、クールジャパン・地域プロデューサー（内閣府知的財産戦略推進事務局）としてもその料理の腕と知識によって世界中で日本文化を広めていらっしゃいます。

そんな志村先生のお話は、これまでに聞いたことのないものになると思います。ぜひ！ご参加ください。

② 昼食 12時～13時30分

場所：銀座ライオン さいたま新都心店（けやきひろば1F）

TEL：048-600-3731 90分の貸し切り、飲み放題付きです！

会 費：5,000円（当日、銀座ライオンにて集金）

申し込み：E-mail：bee.okei@tobuigaku.ac.jp 又は FAX：048-798-8133

締め切り：11月4日(土) * ②以降は、当日参加も可能（先着3名まで）

連絡先：伊藤 恵子 東武医学技術専門学校

TEL：048-798-8123

求人案内

○埼玉県済生会川口病院

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-253-8907 内線3058
人事総務課 神代

○医療法人 新青会 川口工業総合病院

採用条件：正職員
連絡先：048-252-4873
総務課 人事担当

○東松山市立市民病院

採用条件：正職員 平成30年4月1日採用
連絡先：0493-24-6111 内線338
管理課 江野友美

○草加市立病院

採用条件：正職員
連絡先：048-946-2200 内線3003
事務部 経営管理課 庶務係

○医療法人 藤和会 藤間病院

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-522-0600 内線147
今井・小崎

○医療法人 早仁会 久喜メディカルクリニック

採用条件：正職員
連絡先：0480-25-6555 村上

○医療法人社団 CVIC心臓画像クリニック飯田橋

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：03-5206-5956 古澤・恩田

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-645-1256 本部長 星野

○医療法人社団 CVIC大井町心臓クリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：03-5206-5956 古澤・恩田

○川口市立医療センター

採用条件：正職員 平成30年4月1日採用
連絡先：048-287-2525 内線2231 庶務課

○公益社団法人 東京都教職員互助会 三楽病院

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：03-3292-3981
臨床検査科 岡 和子

○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員
連絡先：048-665-6166 人事課 大山

○自治医科大学附属さいたま医療センター

採用条件：臨時職員（パート）
連絡先：048-648-5219 総務課 杉本

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

平成29年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第5回 理事会議事録

日 時：平成29年 8月10日(木) 18時30分より

場 所：JCHO埼玉メディカルセンター
さいたま市浦和区北浦和4-9-3

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 岡田 矢作
小山 奈良 猪浦 長岡 松岡
小島 石井 藤井 長澤 神嶋
伊藤 濱田 武関 鳥山 阿部
(監事)遠藤

欠 席：(理事)濱本 山口
(監事)細谷

本日の理事会の出席者は21名であった。理事の出席者は20名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成29年7月13日～平成29年8月9日)

7月13日(木)平成29年度第4回理事会：

津田、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、松岡、小島、濱本、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口、武関、阿部

7月13日(木)日臨技検体採取講習会：長岡

7月15日(土)(一社)群馬県臨床検査技師会法人化30周年記念式典・祝賀会：
津田、神山

7月16日(日)一都八県会長会議・支部監事会議：
津田、神山、岡田

7月21日(金)第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会実行委員会：

津田、濱本、小山、神山、矢作、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、藤井、長澤、神嶋、伊藤、濱田、山口

7月24日(月)第1回事務局・総務部合同会議：
神山、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡

7月29日・30日(土・日)日臨技検体採取講習会実務委員：
神山、奈良、猪浦、長岡、濱本、神嶋、伊藤、濱田、小島、石井

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 7月15日、(一社)群馬県臨床検査技師会法人化30周年記念式典・祝賀会に津田会長、神山副会長の2名が出席した。

2) 7月24日、第1回事務局・総務部合同会議が開催された。

3) 日臨技「地域ニューリーダー育成研修会」に、阿部健一郎氏(深谷赤十字病院)を推薦した。

日 程：平成30年 1月12日(金)～
14日(日)

会 場：日臨技会館

4) 平成29年度日臨技臨床検査精度管理調査都道府県向け試料費ならびに梱包包材および運送費用請求書内訳に対する相違点に対し、日臨技へ意見書を送付した。

5) 全国糖尿病週間行事の後援を行った。

6) 第39回日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会后援を行った。

7) 埼玉国際医療センター開設10周年記念式典へ祝電対応とする事とした。

8) 江利川毅氏(公立大学法人埼玉県立大学理事長)叙勲受章記念祝賀会へ、岡田副会長が出席することとした。

日 時：平成29年 9月10日(日)13時より
会 場：埼玉県立大学

9) リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017さいたまの後援を行った。

2 総務部

1) 「埼臨技だより」第459号、8月15日発行予定

3 事業部

1) 埼臨技だよりと埼臨技HPにわらび健康まつり・深谷市福祉健康祭り・糖尿病無料相談会・全国「検査と健康展」の実務委員募集の案内を掲載した。

2) 8月10日、第17回わらび健康まつり第2回実行委員会に藤井理事が出席予定。今回は骨密度測定を実施する。

4 学術部

1) 10月・11月生涯教育研修プログラムの発送予定。

5 精度保証部

1) 特になし。

6 会計部

1) 平成29年度正会員費37名分185,000円、入会金37名分37,000円、合計222,000円の入金があった。

2) 生涯教育推進研修会助成金50,000円×1研修会、47,500×1研修会、合計97,500円の入金があった。

3) 日臨技へ平成29年度日臨技臨床検査精度管理調査都道府県向け試料費ならびに梱包包

材および運送費用、合計767,340円を支払った。

- 4) 石井印刷へ、埼臨技だより458号印刷代120,752円、封筒印刷費代59,400円、合計180,152円を支払った。

7 精度管理委員会

- 1) 9月2日、平成29年度埼玉県医師会精度管理試料箱詰め作業予定。

8 一都八県会長会議

- 1) 特になし。

9 日臨技関甲信支部

- 1) 特になし。

10 日臨技

- 1) 特になし。

11 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 8月18日、第6回実行委員会を開催予定。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(平成29年度分)

平成29年 8月 1日現在

会員数 2,888名

(新入会員 220名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 80社[平成28年度 82社]

承認された。

- 2) 平成29年度都道府県技師会リーダー育成研修会開催について

次年度に向け開催を準備することで承認された。

- 2) 医療現場における職能向上のための臨床検査技師育成講習会(多職種業務を知る)企画担当者研修会について

受講資格のある技師を推薦することで承認された。

2 総務部

- 1) 特になし。

3 事業部

- 1) 特になし。

4 学術部

- 1) 特になし。

5 精度保証部

- 1) 特になし。

6 会計部

- 1) 特になし。

7 精度管理委員会

- 1) 特になし。

8 第54回日臨技関甲信・首都圏支部医学検査学会

- 1) 特になし。

Ⅳ. 議題

- 1) 特になし。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

あ と が き

私の友人は、それぞれに深い悩みをかかえながらも精力的に仕事をしています。時にはお酒を交わしながら、「止まない雨はないから」と、励ましあっています。

～聞いてくれる人のおかげで愚痴もこぼせる～

さて、昨年から技師会の方々と医学検査学会の準備を進めて参りましたが、そろそろ大詰めを迎える時期となりました。

学会を成功に導く為に、一致団結してエネルギーギッシュに行動し、スピーディーに問題を解決していく。

初参加の私は付いていくのに精いっぱいですが、会議を重ね、仕事をこなす中で、親しくお付き合いをさせてもらおうと、とても魅力的な方々で、見聞が広がりました。

～ひとの世のしあわせは 人と人が逢うことから始まる よき出逢いを～

～相田みつをさんの格言～です。

ツワモノさん達が造り上げた日臨技 関甲信支部・首都圏支部医学検査学会、どうぞお楽しみに。

(伊藤 記)

